

平成 25 年度東播春季大会の結果

日時：4月27日(土) 会場：明石高校

試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	計
小野	0	0	0	1	1	1	0	3
西脇	0	1	0	0	2	3	×	6

投手：山本、捕手：市場、3塁打：市場、2塁打：森

試合経過

西脇高校は、昨秋の県新人戦ベスト16、県選抜大会にも出場の強敵。1点を追う4回、先頭の3番市場が右中間3塁打、5番西川の内野ゴロの間に生還。5回、先頭の7番谷川がレフト前ヒット、送りバントの後1番中村(有)のセンター前ヒットで生還、さらに2番中村(綾)のレフト前ヒットで二死1、2塁とし、3番市場に打席が回る。一打出ればリードを広げるチャンスだったが、サード強襲のゴロに倒れる。その裏、安打と四球でランナーを出し、タイムリーを許して2点を献上。6回表、相手内野陣の失策を足掛かりに同点とするが、その裏エラー、内野安打、四球からタイムリー2本を許し3点を失点、結局3-6で敗戦。

試合を終えて(主将：市場 麻奈美)

西脇戦、試合の後半までは1点を争う内容で、取られては取り返すという今までの私たちにはできなかった食らいついていく試合展開ができていました。『なんとしてでもランナーが出る』という気持ちから毎回のように出塁し、犠打やヒットエンドランなどでなんとか得点をとりました。こうして迎えた終盤でしたが、いっきに崩れてしまいました。私たちの一番の課題、自滅。守備のエラーでランナーを出し、そこから四球などで一気につけ込まれてしまいました。新チームになってからずっと意識してきたこの課題。2年も3年もまだ自分で自分自身にプレッシャーをかけてしまって、試合の要所で練習通りのプレーがなかなかできないのが実情です。残りの日々も少なくなりましたが、『弱いなりにあがけるだけあがいて』、6月1日(土)の県総体では一回戦の親和女子戦に全力でぶつかります。

試合風景

